

式辞

「ゆく雲の 遠くはひかり 卒業す」

「ゆく雲の 遠くはひかり 卒業す」(古賀まり子)

春霞に流れゆく雲の行く先は、光り輝いています。卒業生のみなさんの、こののちを暗示するように、みなさんの行く手は光り輝く未来です。今日はその出発の日です。

はじめに、本日、この春のよき日に、たくさんのご来賓の皆様をお迎えして、平成28年度 春日部市立東中学校 第55回卒業証書授与式を挙げていきますことに、関係の皆様へ篤く御礼申し上げます。

たった今、卒業生217名のみなさんに、卒業証書をお渡ししました。卒業生のみなさん、改めてご卒業おめでとうございます。

目をつむっている間のような、アッとと言う間の3年間ではなかったでしょうか。時間は同じ長さでも、一人ひとりの思いはそれぞれに違うと思います。今、その思い出が、それこそまさに流れゆく雲のように、思い起こされるのではないのでしょうか。

「力戦奮闘 クラス旗掲げ 東の頂点 ここにあり」。クラスが、学年が、学校全体が、団結する力。この瞬間に、一丸となれることを味わうことができた体育祭。勇壮だった組体操。優雅であったよさこいソーランのフィニッシュ。

「気づこう日本の魅力 築こう僕らの思い出の1ページ」。ルールの遵守だけでなく、マナーの面で大人の振る舞いのできた修学旅行。思い出は写真だけではなく、それぞれの脳裏にしっかりと焼きつけられているのではないのでしょうか。

「一音心奏(いちおんしんそう) 最響の東SOUND 新たなページに歴史を刻め」。みなさんが歌った「春に」の歌声は、あの場にいた人たちの心に焼き付けられたのではないかと考えています。みなさんのその歌が、今日を最後に聴けなくなるのは、残念でなりません。その力強く、美しいハーモニーをもう一度今日、聴かせてください。

さて、たくさんのお思い出を胸に義務教育九か年を終え、東中とは別の場所で、新しい仲間と新たな努力を始めるみなさんに、本日の卒業式を「最後の授業」として、私から次のことを卒業の餞(はなむけ)の言葉として贈ります。

それは、「**着眼大局・着手小局**」ということです。

みなさんは、平成13年(2001年)4月～平成14年(2002年)3月の生まれです。21世紀の最初の年度に誕生した世代です。まさに、みなさんは、21世紀の先頭集団です。自分の年齢と、21世紀の歩みが重なる世代です。成人のときは、21世紀の20年目、50歳のときは、21世紀が半世紀を過ぎることになります。

そこで、21世紀の先頭を走るみなさんに、大きな視点で物事を見てほしいという願いがあります。それが「着眼大局」という言葉です。物事を見るときには、大きな歴史の流れを踏まえた、高く大きな視点を持ちなさい、という意味です。

今日や明日、今年や来年のことではなく、何千年という歴史や、700万年を超える人

類の発展、地球の誕生や生物の進化等も踏まえた、大きな物の見方で、現代を見つめてください、これが「着眼大局」です。人類は、700万年前にチンパンジーとの共通祖先から枝分かれし、7万年前に言葉を獲得します。言葉のない時代でも、言葉なしに信頼関係を築き上げ、そして、様々な危険を集団で乗り越えてきました。そうした人類の進化や、世界や日本の長い歴史を踏まえて、今の私たちを考えましょう、大局的にものを見なさい、これが「着眼大局」です。

一方、物事を実行するときには、「着手小局」です。身近なところから始めなさいということです。自分の今できることを確実に行うことで、目標や夢は確実に近づいてきます。いきなり大きなことを始めるのではなく、あいさつをする、時間を守る、整理整頓をするなど、日々自分ができることから始めて、そして、大きな目標にたどりつけるようにしましょう。

「着眼大局・着手小局」を胸に刻んで、遠く、光り輝く未来に向けて、新たな道を歩んでください。

では、みなさん、お元気で、ご活躍されることをお祈りしています。

保護者の皆様、ご誕生から今日まで、お子様のことで数々のご苦労や、同時にたくさんの喜びを感じてこられたことと思います。改めまして、本日はおめでとうございます。親にとって、子どもの成長は何よりの楽しみであり、喜びであるのを、私自身も親の一人として感じてまいりました。とくに、今日は、義務教育を終える日として、感慨もひとしおではないかと思えます。

これから20歳までの5年間も、人の成長として、大変重要な時期となると思えます。選挙権も18歳からになりました。いつまでも子どもではなく、責任をもって自分の人生を歩いていける人となれるよう、見守ってまいりましょう。「手をかける」から「目をかける」段階、さらに、その次の、主体性を尊重する段階へと、親も周囲の大人もステップアップしてまいりましょう。最後になりますが、皆様のそれぞれのご家庭の未来に幸多からんことをご祈念申し上げます。

結びに、本日ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、衷心から御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございます。本校の歴史も55年目を数え、60年に向けた次のステップに進む段階になっています。平成が30年になろうとするここ数年も、ひとつの時代が区切られる感覚があります。これからも東中は、時代感覚を研ぎ澄まし、新たな実践で学校教育を進めて参ります。今後とも、本校の教育にお力添えいただくことをお願い申し上げ、式辞といたします。

平成29年3月15日

春日部市立東中学校 校長 船田年男

※一部漢数字を算用数字に変えてあります。